

都心の道路整備



都心部で道路を新たに整備するためには様々な困難が伴います。大阪市においても、都心部のしかも大阪で最も古く、都市活動が盛んな船場地区の東西を貫く道路(中央大通)を整備する際、密集した繊維問屋街の土地の買収が、大きな問題となりました。この時、どの様な方法で整備をしたでしょうか？

- A 土地を売ってもらえるまで何年も待った
- B 高架道路下に繊維問屋の店舗を収容するビルを建設した
- C 無理やり土地を取り上げた

(位置図)



答えは、B。

高架道路とビルを一体的に建設し、繊維問屋を中心とする立ち退かれた方々を、このビルに移転して頂くことにより、地域復興を図りながら道路整備を行いました。

これにより、平面6車線、高架6車線の東西方向の大動脈となる道路と東西約1kmにわたり2~4階建てのビル10棟が連なる巨大ビルが完成しました。

